

D 個別施策						
番号	個別施策	指標	基準年(H29)	直近	結果	目標
1	拠点病院等は情報を集約し患者等に周知する	活動状況を示す指標を採取				
追加欄						

C 初期アウトカム									
番号	患者が適切な医療機関で受診できるよう、医療機関情報を周知する	基準年(H29)	直近	結果	目標	SPC	妥当性	信頼性	
1	拠点病院等は情報を集約し患者等に周知できている	①おきなわがんサポートハンドブックの配布数 ②地域の療養情報の配布数 ③沖縄県在宅緩和ケアマップの更新回数	①NA ②NA ③1回	①20,549 (R2) ②19,687 (R2) ③17回 (R2)	▲		P	C	B
追加欄									

B 中間アウトカム													
番号	正しい情報と医療連携のもと、患者が適切な医療機関を受診できている	基準年(H29)	直近	結果	目標	SP	O	A	B	妥当性	信頼性		
1	病院から診療所・在宅医療へ移った際、病院での診療方針が診療所・訪問看護ステーションへ円滑に引き継がれたか? (H26体験調査問14)	沖縄69.3 栃木81.2 全国72.7 (H26)	質問項目なし (H30)							増加	O	A	B
2	成人間20-12 紹介先の医療機関を支援なく受診できたと思う人(転院したことがある人)	質問項目なし (H26)	沖縄80.9 長野100 全国82.5 (H30)							O	A	B	
3	成人間20-13 希望通りの医療機関に転院することができた人(転院したことがある人)	質問項目なし (H26)	沖縄85.7 兵庫97.5 全国79.2 (H30)							O	A	B	
1	NDB-SCR ①がん治療連携計画策定料1 ②がん治療連携指導料 ③がん治療連携管理料 1拠点病院 2診療病院	①49.8 17.5 35.1 ②151.7 ③-1 NA ③-2 NA	①NA ②114.6 ③-1 NA ③-2 NA (H31)							P	B	A	
追加欄													

A 分野アウトカム													
番号	適切な医療連携に基づく医療を受けられている	基準年(H29)	直近	結果	目標	SP	O	A	B	妥当性	信頼性		
1	5年相対生存率全がん(男女計)	沖縄60.1 最良県-- 全国62.1 (H18-20診断)	沖縄63.2 三重68.8 全国64.1 (H21-23診断)	▲						増加	O	A	B
2	5年相対生存率大腸(男女計)	沖縄 64.7 秋田 85.5 全国 71.1 (H18-20診断)	沖縄 70.7 三重 76.9 全国 71.4 (H21-23診断)	▲						増加	O	A	B
3	5年相対生存率肺(男女計)	沖縄30.1 秋田52.8 全国31.9 (H18-20診断)	沖縄27.5 長野44.9 全国34.9 (H21-23診断)	▲						増加	O	A	B
4	5年相対生存率肝および肝内胆管(男女計)	沖縄26.1 秋田54.6 全国32.6 (H18-20診断)	沖縄25.1 徳島46.7 全国35.8 (H21-23診断)	▲						増加	O	A	B
5	5年相対生存率全がん(男)	沖縄52.9 秋田75.5 全国59.1 (H18-20診断)	沖縄57.5 秋田67.7 全国62.0 (H21-23診断)	▲						増加	O	A	B
6	5年相対生存率大腸(男)	沖縄 63.5 秋田 84.5 全国 72.2 (H18-20診断)	沖縄 70.2 秋田 79.3 全国 72.4 (H21-23診断)	▲						増加	O	A	B

優先度	個別施策	指標	基準年(H29)	直近	結果	目標
2	医療機関に関する情報を医療機関の間で共有する	活動状況を示す指標を採取			▲	増加
3	機能に応じた紹介を行う体制を整備する	活動状況を示す指標を採取				

番号	医療機関間の情報共有を回り、その情報に基づいた医療機関相互の紹介を行う体制ができている	基準年(H29)	直近	結果	目標	SPC	妥当性	信頼性	
1	医療機関に関する情報を医療機関の間で共有できている	①院内がん登録報告書の県内医療機関への配布数	①256	①248	▲		P	C	B
2	機能に応じた紹介を行う体制ができている	①沖縄県在宅緩和ケアマップの更新回数 ②医療部会および離島・へき地部会で検討した回数 ③緩和ケア・在宅医療部会で検討した回数	①1回 (H30) ②0 (H29) ③0 (H29)	①17回 (R2) ②7 (R2) ③0 (R2)			P	C	B

番号		D 個別施策					
優先度	個別施策	指標	基準年(H29)	直近	結果	目標	
	4	地域連携クリティカルパスを推進する	活動状況を示す指標を採取				
	追加欄						
5	身近な医療機関で経過観察できる体制を整備する	活動状況を示す指標を採取					
6	(再掲)地域連携クリティカルパスを推進する	活動状況を示す指標を採取					
	追加欄						

番号		C 初期アウトカム						
3	身近な医療機関で経過観察が行える体制ができています	基準年(H29)	直近	結果	目標	SPC	妥当性	信頼性
3	地域連携クリティカルパスが推進できている	①がん治療連携計画策定料1 ②がん治療連携指導料 ③がん治療連携管理料 1拠点病院 2診療病院	①44 ②1,721(H28) ③-1 140(H27) ③-2 —	①10 ②1,851 ③-1 26 ③-2 26			S P	B B
	追加欄							
1	身近な医療機関で経過観察できる体制ができています	拠点病院等から、地域の医療機関へ患者を紹介した件数	調査中	調査中			P	C B
2	(再掲)地域連携クリティカルパスが推進できている	①地域連携クリティカルパスに基づく診療計画策定等実施件数(レセプト件数) ②地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数(レセプト件数)	①57 ②1852	①29(H30) ②1864(H30) (??年に廃止?)			S	B B
	追加欄							

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

番号		A 分野アウトカム						
指標	5年相対生存率	沖縄	秋田	全国	直近	目標	妥当性	信頼性
7	5年相対生存率 肺(男)	沖縄24.8 秋田49.9 全国27.0 (H18-20診断)	沖縄21.4 三重41.7 全国29.5 (H21-23診断)		増加	O	A	B
8	5年相対生存率 肝および肝内胆管(男)	沖縄25.4 秋田58.3 全国33.5 (H18-20診断)	沖縄28.7 鹿児島50.0 全国36.2 (H21-23診断)		増加	O	A	B
9	5年相対生存率 全がん(女)	沖縄67.9 秋田75.4 全国66.0 (H18-20診断)	沖縄69.6 三重72.7 全国66.9 (H21-23診断)		増加	O	A	B
10	5年相対生存率 大腸(女)	沖縄 66.7 秋田 82.1 全国 59.6 (H18-20診断)	沖縄 69.5 三重 74.4 全国 70.1 (H21-23診断)		増加	O	A	B
11	5年相対生存率 肺(女)	沖縄42.6 秋田59.4 全国43.2	沖縄41.5 島根59.0 全国46.8 (H21-23診断)		増加	O	A	B
12	5年相対生存率 肝および肝内胆管(女)	沖縄27.7 秋田47.0 全国30.5 (H18-20診断)	沖縄17.2 徳島47.6 全国35.1 (H21-23診断)		増加	O	A	B
13	5年相対生存率 全がん(男女計)	沖縄60.1 最良県-- 全国62.1 (H18-20診断)	沖縄63.2 三重68.8 全国64.1 (H21-23診断)		増加	O	A	B
14	5年相対生存率 肺(男女計)	沖縄30.1 秋田52.8 全国31.9 (H18-20診断)	沖縄27.5 長野44.9 全国34.9 (H21-23診断)		増加	O	A	B
15	5年相対生存率 肝および肝内胆管(男女計)	沖縄26.1 秋田54.6 全国32.6 (H18-20診断)	沖縄25.1 徳島46.7 全国35.8 (H21-23診断)		増加	O	A	B

番号 D 個別施策

12	県は研究を推進、協力及び支援する	活動状況を示す指標を採取					
13	国内で承認された薬剤や医療機器がすみやかに使用できるようにする	活動状況を示す指標を採取					
14	臨床試験に参加する	活動状況を示す指標を採取					
追加欄							

番号 C 初期アウトカム

2	県は研究を推進、協力及び支援ができています	指標 沖縄県が、研究のために提出した予算の総額	0件 (H29)	1件 500万円 (R2)	↑		P	C	B
3	国内で承認された薬剤や医療機器がすみやかに使用ができています	指標 承認月と琉球大学病院における利用可能日とのタイムラグ ①キイトルーダ 100mg ②テセントリク 1200mg 840mg ③イミフィンジ 500mg 120mg ④バベンチオ 200mg					S	C	C
4	臨床試験に参加ができています	指標 琉球大学病院で承認された試験数	調査中	調査中			S	C	B
追加欄		指標							

番号 B 中間アウトカム

番号 A 分野アウトカム